

学びや

タイムスリップ

に祝い、多くの記念行事がなされました。

中京区(当時の上京区)の竹間校では、学区に住む画家たちに依頼して、記念の絵画を寄贈してもらったことになりました。

近代の京都に小学校ができたのは1869(明治2)年。64の番組小学校が開校したことが始まりです。

その後、1918(大正7)年には番組小学校は50周年を迎えました。各校は盛大に祝いました。

時代の白拍子であった静御前。源義経との悲恋で、強い風が吹く冬の日、寒もよく知られる人物です。流麗な髪のお元を、手で覆うしぐさなどに、柔らかな雪が積もる。は女性の優美さを引き立たせており、松隈の手腕がよく發揮されています。

大倉町に住んでいた都路華香、山元春琴とい

路華香は駿馬を描きました。力強く前足を上げた、いななく勇ましい姿。華香らしい明るい色彩が用いられた作品です。

坂本町に住んだ山元春

「学区」の絆で共同制作

その後、これらの12幅

元竹間小
「さくらもみらい館」

京都市立元竹間小学校	京都市立山元春琴小学校	京都市立都路華香小学校	京都市立大津町小学校	京都市立大倉町小学校	京都市立野古桑小学校	京都市立庄田彌友小学校	京都市立中唐野古桑小学校	京都市立梅戸在直小学校
●								

た。「学区」という絆によって成立した画家たちの共同制作は京都ならではの、また、そうした事業が可能になるほど、一つの学区に多くの画家が住んでいたことも驚かされます。

「組内画家記念揮毫屏風」のうち、上村松園「静御前」は12月4日から来年1月6日まで学校歴史博物館(下京区)で展示します。



上村松園「静御前」(1918年、元竹間小蔵) 京都府立学校歴史博物館蔵



都路華香「駿馬図」(1918年、元竹間小蔵)一同提供

学芸員 森光彦